

分子でつくる分子のおうち

2008年3月1日 ちおん舎にて



ゲスト 北川 進さん

京都大学 iCeMS 副拠点長
工学研究科 教授

と 北川研究室のみなさん

その実体は・・・“分子建築家”

この世の中、“分離する”ってなかなか大変

原油を精製するために、実はとても多くのエネルギーを使っている。

汚染された土壌や消却灰から重金属を回収するのは、とても大変。

エネルギーをあまりかけずに
すっきり分離、回収できたらいいのに・・・

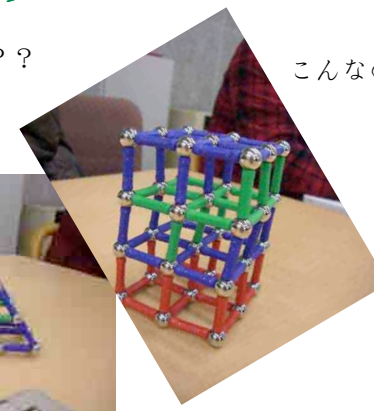
iCeMS (京都大学物質-細胞統合システム拠点) では、物理学、化学、細胞生物学など異分野の研究者が連携協力する学際融合研究を進めます。さらに、これらを基盤とした新世代技術を開発して、人類の福祉と健康に貢献することを目指しています。

京都大学 iCeMS <http://www.icems.kyoto-u.ac.jp/index.html>

分離するための分子のおうち

多孔性錯体 (分子の “おうち”) って???

模型を作ってみました。



こんなのが

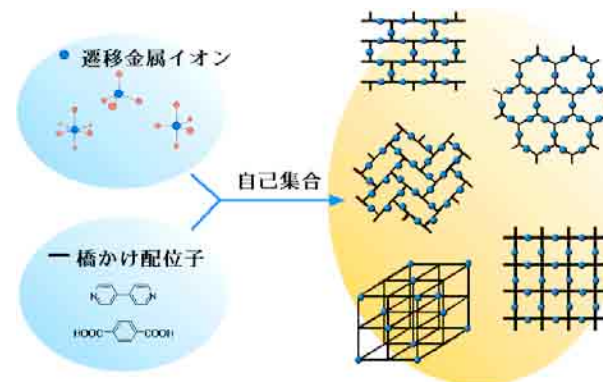
こんなのが



隙間の大きさによって、
入ることのできるボール (分子) が決まってきます。

分子が “おうち” に入る ⇒ ガスが多孔性錯体に吸着されている

“分子建築家” の設計&建築とは？



井戸端サイエンス工房では、サイエンスカフェをはじめ、科学に関わるさまざまな活動を行っていきます。今後のイベント情報などは、ホームページをチェックしてみてください。

井戸端サイエンス工房 <http://kyoto.vis.ne.jp/isl/>

アイセムス
次回の iCeMS カフェ は、5月10日を予定しています。